点訳通信

創刊　号

1991-11-15

盲人情報文化ｾﾝﾀｰ
550 大阪市西区江戸堀 1-13-2
TEL 06-441-0015　FAX 441-0039

発刊にあたって

お待たせしました。いよいよ『点訳通信』を発行する事になりました。点字製作係の職員（木村、水谷、森）全員、日々の仕事に追われ、今日まで発行できなかったことを申し訳なく思います。日頃、みなさんとのコミュニケーションが少なく、点訳についての語例一つをとっても不十分だったと思います。今後、本誌を通してできるだけ意思の疎通をはかって行きたいと思います。分かち書きのこと、パソコン点訳のことなど、疑問がありましたらお聞かせ下さい。

また、本誌は、当センターから皆さんへの一方的な通信ではなく、皆さんにもどんどん誌上に参加していただきたく思います。その意味で、３人のボランティアの方に編集をお手伝いいただこうと思います。内容についてボランティアの視点からご意見を聞かせていただけるものと思います。３人とも、優秀な点訳者であり、率直にものをいう方であり、能動的な方です。ご期待下さい。

なお、原稿などお願いすることもあろうと思いますが、その節は「ノー」といわないで下さい。

主な内容

「ルール　Ｑ＆Ａ」

分かち書きや仮名遣いのルール、漢字の適切な読み下しの事例、センスあるレイアウトなどについて、皆さんの疑問にお答えします。

「パソコン点訳コーナー」

点訳に必要な知識、とんでもないミスをしない為のちょっとした配慮事項など、ご紹介します。

「私の点訳ライフ」

ボランティアの自由な投稿覧です。「今こんな本を点訳しています」、「こんな事例に遭遇しました」、「こんな工夫をしています」などなど、意見や経験交流のページです。

「点字フォーラム」

点字・点訳に関するトピックス、難読地名・人名、その他ちょっとしたお知らせも含めて、いわば寄せ鍋風に色々なことをお伝えします。

とりあえず、こんな編集方針をたてました。内容についてもご意見をお聞かせ下さい。

では、編集をお手伝い下さるかたがたの自己紹介です。

編集スタッフ紹介

世の中変わったと思います。いいえ、パソコン点訳のことではありません。近頃“男の仕事もやり終えた”といった、六十過ぎの男性の立ち話の姿をよく見かけます。昔は、立ち話は女の特権だったと思いますが…。買い物の行き帰り、私と同年配らしき人のそんな姿を横目にしながら、慌ただしく帰宅してパソコンの前に坐ったとき、世の中変わった、と思うのです。昔なら孫のお守りも卒業して、縁側で縫い物でも、という年の私が年々忙しくなり、今度また編集という仕事までいただきました。頭も体も動きの鈍くなった私に出来るのでしょうか。でも、お若い有馬さん、鴻農さんを頼りに、皆様から楽しみに待っていただけるものにしたいと願っております。どうぞよろしく。　（清水）

ひかえめな点訳者の多い中で、３階でいつの間にかうるさい存在になっていたようで、それが災いして、この度編集委員をおしつけられました有馬です。

ミスや自分の無知を謙虚に反省していた放出でのスタートから２０年経って、居直りの今日この頃です。

自己紹介一つに苦労しましたが、これからは原稿を皆さんにお願いしますので、どうぞよろしくお願い致します。　（有馬）

始めまして、鴻農高子と申します。

点字を覚え始めてウン年、点訳とそれに係わるすばらしい人との出会いを大切にゆっくりとながーくいつまでも続けられればと・・・。

友人は私の事を明るく社交的だと、でも自分では？　付き合って下されば理解して頂けるものと。よかったら一度声をかけて下さい。

最近ゴルフを習い始めました。肩こり、気分転換にと今ではコースに出るのを楽しみにしています。これからも静（点訳、習字、識字etc）動（ゴルフ、旅行）両方面で頑張って行きたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。　（鴻農）

点訳Ｑ＆Ａ

Q 今度のルール改正で変更されたことはありますか？
また、見出しの表記に関して絶対にしてはいけない事柄を整理して説明して下さい。

A 小見出し符が変わりました。第１小見出し符（従来の小見出し符）が636　第２小見出し符が5　2です。第２小見出し符というのは、小見出し符の中でさらに見出しを整理したい時にのみ用います。それ以外の変更はありません。従来どおり表記して下さい。本来、見出しの表記に付いてのルールは規則性が弱いのですが点字表記の慣習上絶対にしてはいけないこともあります。標準的なルールを掲げながら、やってはいけないことを整理してみましょう。

1)　大見出しは８ますあけ、中見出しは６ますあけ、小見出しは４ますあけで書きはじめるのが一般的で、空け幅は必ず偶数とします。その反対は絶対にしないで下さい。見出しの種類が２種類の場合は、８ますあけと６ますあけ、６ますあけと４ますあけなどどちらでも結構です。

2)　見出しの序列を示す数字などの後は２マス空けます。１マスアケでも絶対にいけないとは言えませんが、慣習上あまり望ましくありません。また、見出しが１行に入りきらない時は、２行目の書き出しを２マス下げるか、見出しごと揃えるかして下さい。行頭から書いたり、１行目の頭、特に序列を示す数字の数符などと揃えたりしないで下さい。例えば、１世界の動きと日本の役割と言う見出しがあったとして、役割だけが２行目に移る場合、ヤを１行目の１の数符から２マス下げた位置から書くか、セに合わせるかする訳です。これが第１章だった場合、セに合わせると２行目がうんと右寄りから書き出すことになり、長い見出しだと４行にも５行にもなるので、章、節などで見出しが整理されている時は、前者の書き方がよいと思います。見出しの序列を示す数字は大きい順にただの数字、数字の後にピリオド、数字に丸括弧を付けるなどの形で整理します。必ずしもこのようにしなければならないと言うほどではありません。また、ローマ数字の場合、普通の数字に置き換えてもよいと思います。特に、第Ⅱ章などとなっている活字書がありますが、一般的には第２章とした方が早分かりすると思います。

3)　見出しの変わり目ですが、ページ変え10ます傍線を入れる、10ます点線を入れる、１行あけるなどの方法を用います。ただ、本の内容によって色々考えられますので、この場合はこれと言えません。本ごとにご相談しましょう。

4)　見出しとページ移しとのかかわりですが、前の文章がページ末に来た場合、行頭を１行あける必要はありません。あけても間違いと言うほどではありませんが。また、見出しだけがページ末になるようなことは避けて、ページ末をあけて次ページの１行目から書いて下さい。規則的には本文が１行以上入れば見出しがページのしたに来てもよいことになっていますが、３行程度なら下を空白にした方が読み手が見出しをさがしやすいと思います。

パソコン点訳講座 1

点訳の原則は原本に忠実に、正確に変換することです。当然のことのように思われる原則ですが、つきつめて行くと、何をどうすれば正確で忠実な点字訳になるのか、考えれば考えるほど分からなくなります。

この原因の根本は墨字と点字との差異から来るものと思われます。また、墨字資料は、点訳することを目的に書かれているものでもありません。そのために、更に混乱に拍車をかけることになります。

ここに例示したものは、参考にしていただくことによって、少しでも点訳の手助けになれば思い列記しました。墨字本は、文庫本・豪華本など本の形態に差があり、表現法も古典的なものから視覚に中心を置いたものまで千差万別です。当然、点字本もバラエティーにとんだものがあってもいいはずです。といっても、点訳という作業は「創作」ではなく、あくまでも原本に忠実に正確に訳するのが原則です……。

日本で１年間に出版される新刊単行本数は年により変動はありますが毎年、約３万７千種も発行されます。これだけ多く出版されている図書を一つの規則で表現するのは不可能です。ここに揚げた例はほんの一例ですので、これを参考の上、どの様に点訳すれば原本に近い表現なのか考えてみて下さい。

また、ご意見がありましたらお知らせ下さい。この小冊子の上に反映させ、よりよい点訳をめざして行きたいと思います。

表題紙の作り方

表題紙は原本の奥付、表紙、背表紙などを参考に記載します。下に標準的な表題紙の書き方を記しますが、これにこだわっていただく必要はありません。ただ、晴眼者と視力障害者では読み方が少し違います。眼では広い範囲を一度に観察できますが、指で読む点字はまさに点の連続でしかありません。この違いを考慮にいれて、凝ったデザインの表紙でも、また、あっさりしたものを作っていただいても結構です。但し、①著者名　②作品名　③巻数・全巻数は必須事項ですので記入もれのないようにお願いします。

1-1　記載事項

とびら（表題紙・表紙）には下記の項目を記載する。

1)　著訳者名
2)　書名、副書名
3)　点訳書の巻数、全巻数
4)　点訳者名
5)　点訳年月

1-2　表題紙の記載順序と位置

図－１　表題紙見本

表題紙の記載は右記の記入例のように書くが、もちろん枠や、形態を変更していただいても結構です。

著 者 表 示

書　　名
－副書名－

第○巻
全○巻

点訳者名
点訳年月

1-2-A　著者表示

著訳者名の表示は「著・作・文・編・訳」なども含めて原文のとおりするが、多数で記入しきれない場合は適宜、人数をしぼって省略記入することも可能。但し、省略した場合は、「ほか」と書き添える。

1-2-B　書名表示

書名、副書名は四角で囲い記載するが、副書名などが長い場合は囲いの下に記載してもよい。

1-2-C　巻数表示

巻数は「第○巻」と「全○巻」とを数字で表示する。一冊の本については「全１巻」とのみ表記する。

1-2-D　製作館表示

この蘭は、製作館を記載する蘭であるが、当センターでは「見返り」に図書館名を印刷しているので、表題紙には点訳者名を記載する。

1-2-E　点訳年月

点訳年月を西暦で記入する。

ＩＢＭ「ＢＥ」での書誌事項記入の実際

2-1　点字書誌事項記入

新規に文章を作成する場合や、既に作成した文書ファイルを修正する場合、一番最初に出てくる画面が《文書情報》です。皆様が入力されたデータは電話回線を通じてホストコンピュータに登録します。登録されたデータは全国の図書館や

グループなどが電話回線を通じて引き出すことが出来ます。しかし、どのような図書が登録されているのか、検索機能がなければ充分に活用することができません。目録はこの《文書情報》画面を利用してホストコンピュータが自動的に作成するものです。

以下、記入方法を列記します。

2-1-1　文書名

「文書名」とは、例えば図書館で本を探す時を考えて下さい。背表紙を見ながら希望の図書を見つけだすと思いますが、ＢＥ文章をフロッピーディスクに保存する時もこれと同じです。探すのに便利なように、また、他のファイルとの区別をつけるために使用するものです。従って、１つのフロッピーディスクには、同じ名前のファイルは同時に存在することは出来ません。

「文書名」は半角８文字以内と決まっています。点字本は通常２冊以上に分冊されるのが普通です。そこで、６文字を書名に、残りの２文字を分冊番号に使います。

例えば『森からの贈り物』という図書の場合は

書名…森からの贈り物
ﾌｧｲﾙ名→［ﾓﾘｶﾗﾉ01］

のように、６文字以内（この例では「モリカラノ」の５文字）で、その図書を想像できる名前を与えます。後の「０１」は１巻目を表わしています。以後、２巻目は「モリカラノ０２」というように巻数を２桁の数字で表わします。

尚、文書名はスペース（ますあけ）やピリオドなど使うことは出来ません。他の項目は点字で画面表示されますが、この項目だけは半角の墨字で表示されます。

2-1-2　原本タイトル

原本タイトルを正確に記入して下さい。ここでは点字のルール通りマスアケをして下さい。

2-1-3　著者、共著訳者等

著者名を記入しますが、著者が２名以上（共著）、または著者・訳者など複数の著作権者が執筆している時は、まず主な著者（１番目に書かれている著者）を「著者欄」に記入します。訳者等は次の欄に記入します。

2-1-4　出版社等

出版所名を記入しますが、「株式会社」などは省略して下さい。

株式会社　文藝春秋
→　ブンゲイ　シュンジュー

2-1-5　原本開始ページ
　その巻の原本のページ数です。通常は１巻目は１ページから始まります。２巻目以降はその巻の原本開始ページです。終了ページは記入する必要はありません。

2-1-6　分割番号
　巻数のことです。１行目の『文書名』では２桁で巻数を表わしましたが、ここでは１桁の場合は前に「０」を入れないで１桁のまま記入して下さい。

１巻	→	○	「数符１」
	→	×	「数符０１」

2-1-7　点訳者
　点訳者は「日本ライトハウス」にして下さい。尚、本文中の表紙の点訳者の項は点訳者本人の名前を記入して下さい。

文書情報	→	日本ﾗｲﾄﾊｳｽ
表　　紙	→	点訳者本人

2-1-8　備考
この欄は、上記の欄に記入できなかった情報を記入します。例えば『日本文学全集』から一作品を点訳した場合など、作品名は「原本タイトル」欄に、全集名と抜粋であることをこの欄に記入します。また、著者が多くて上記に書ききれなかった場合や、その他必要事項を記入して下さい。

（次号につづく）

なんでも相談室「かな」？

　人類はその昔、海から陸に上がってきた。からでしょうか、地球の７０％を占める海、その中に生きるもの達を覗いてみようと、多くの人たちが水族館に心引かれます。今回は水棲生物を取り上げました。合わせて見学にも便利なように特徴と開館時間、料金などを併記しました。
　この「なんでも相談室」のコーナーは点訳上、読めない漢字など相談にのっていただける施設などを紹介する欄ですが『かな』が付いてある通り、レファレンスを目的に設立された訳ではありません。質問の場合は丁重にお願いして下さい。

◎海遊館　06-576-5500　〒552　大阪市港区海岸通 1-1-10　天保山ﾊｰﾊﾞｰﾋﾞﾚｯｼﾞ
　　開館：10:00-20:00　　定休：12－２月の第３水曜日　料金：大人1950円
　ご存知、大阪港の新名所。太平洋とその沿岸エリア１４の水槽に分けて展示している。圧巻はジンベイザメ以下大型の魚が泳ぐ巨大水槽。４階分ぶち抜きの深さなのでアシカ、ペンギンなどの意外な生態も観察できて飽きない。

◎神戸市立須磨海浜水族園　078-731-7301　〒564　神戸市須磨区若宮町 1-3-5
　　開館：9:00-17:00　　定休：水曜日　料金：大人 800円　子供 500円
　人口の波が打ち寄せる「波の大水槽」、ピラニアやデンキウナギなどが実際に餌を捕る「海のライブ劇場」など水棲動物の姿を自然に近い形で。愛敬たっぷりのラッコの食事風景や、利口なイルカのショーにも心が和む。

◎鳥羽水族館　0599-25-2555　〒517　鳥羽市鳥羽 3-3-6
　　開館：8:00-17:00　　定休：無休　　料金：大人2000円　子供1000円
　ダイビング気分が味わえるコーラルリーフや古代の海、海獣の王国、ジャングルワールド、伊勢・志摩の海、日本の海などのゾーンごとに珍生物が勢ぞろい。パフォーマンススタジアムではアシカやペンギンが自慢の芸を。

◎姫路市立水族館　0792-97-0321　〒670　姫路市西延末 440
　　開館：9:00-17:00　　定休：無休　　料金：大人 200円　子供 30円
　手柄山中央公園の山上にあり、海ガメの飼育で有名。海水淡水のさまざまなカメが大小のプールでユーモラスな姿を見せている。ナマコ、シャコ、カニなどの磯の生き物に触れるタッチング・プールは子供達に人気がある。

◎志摩マリンランド　05994-3-1225　〒517-05　三重県志摩郡阿児町神明字カシコ 723-1
　　営業：9:00-17:00　　定休：無休　　料金：大人1000円　中・高生 600円
　広々とした大回遊水槽を中心に約 350種、 800匹の魚を展示。合わせて化石と太古の海を再現した古代水族館を併設している。大水槽を舞台に海女さんと魚のジョイントや、魚の芸など楽しいショーが行われている。

◎滋賀県立琵琶湖文化館　水族館　0775-22-8179　〒520　大津市打出浜 1-1
　　営業：9:00-17:00　　定休：月曜日　　料金：大人 250円　学生： 200円
　お城の形をしたユニークな水族館。琵琶湖に生息する６０種類の魚をメインに、約 110種類の淡水魚を展示。派手さはないが琵琶湖にしかいない１１種の魚などここでしか見られない珍しいものがいる。博物館、美術館も併設。

⊗　　掲　示　板　　⊗
・図表点訳講座を予定しています。ご希望の方は点字製作まで声をかけて下さい。
　日時：１月１７日～３月２７日（毎金曜日）　10:30-12:30
・このコーナーに自由に落書きして下さい。原稿募集中です。
・パソコン点訳講座、しばらくは復習になります。
⊗ ～自由に記入して下さい。６時間たった場合は消すことも！～⊗